

製品名: カルボニン 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07872**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	CNN2
別名	CNN2; Calponin-2; Calponin H2; smooth muscle; Neutral calponin
遺伝子 ID	1265.0
SwissProt ID	Q99439
免疫原	抗血清はヒト CNN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

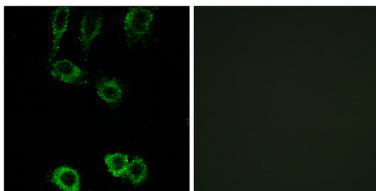
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アクチン、カルモジュリン、トロポニン C、トロポミオシンに結合し、アクチンフィラメントの構造的組織化に機能する可能性がある。コードされるタンパク質は、平滑筋の収縮と細胞接着に関与している可能性がある。

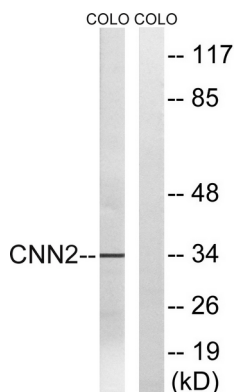
る。この遺伝子には複数の擬似遺伝子が同定されており、1番、2番、3番、6番、9番、11番、13番、15番、16番、21番、22番染色体に存在する。選択的スプライシングによって、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015年1月]、機能：平滑筋収縮の調節に関与する細いフィラメント関連タンパク質。アクチン、カルモジュリン、トロポニンC、トロポミオシンに結合できる。カルポニンとアクチンの相互作用は、アクトミオシン Mg-ATPase 活性を阻害します。、類似性:カルポニンファミリーに属します。、類似性:1つのCH (カルポニン相同) ドメインを含みます。、類似性:3つのカルポニン様反復を含みます。、組織特異性:心臓および平滑筋。、

研究分野

画像データ



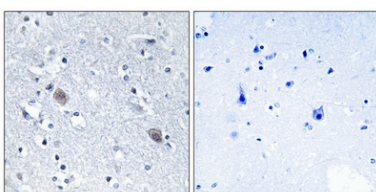
CNN2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



COLO 細胞ライセートの CNN2 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



カルポニン 2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。

